

新しい提案 葬式の返礼品について

現在、葬式の返礼品は お茶やふりかけなどの調味料の 既製品で おこなわれています。

それを、大型店（スーパーや量販店）コンビニ等を除く 喜多方市内限定で使える「商品券」的なものに変えます。 その商品券で、市内の食堂や飲食店 床屋や美容室 市内の商店 農業法人や農協のショップなどで使えるようにします。

今までの様に、地域の商店使用 限定では 返礼品をもらった人や会社は 喜ばないと思います。 そこで、その商品券で 農業法人などから 米や蕎麦や農産物を 直接購入できるようにします。 返礼品のカードに 農家や農業法人の連絡先のバーコードを記載して 簡単にスマホなどで 米や蕎麦や季節の農産物を見れるように情報を公開して 直接購入できるようにします。 購入した消費者を、自動的に会員として 囲い、販売できない規格外の季節の農産物を サービス品としてプラスして 宅配しても良いと思います。

「商品券」で、うまい米や蕎麦や農産物を食べた人は 都会で生活する人にも 農業法人や農家から 直接仕入れて 贈り物として使うはずで。 一番のメリットは、今まで知らなかった一般の喜多方市民と生産者である喜多方の農家が 直接 知り合う機会ができるということで、地産地消には すごいプラスになると思います。 それが、喜多方市で生産する農産物を「喜多方生産ブランド」として オール喜多方市民で 全国の消費者に PRできる第一歩になると思います。

現在、コロナ感染症対策で困っている 地域の飲食店やラーメン屋さんでも 使えるようにします。

返礼品をもらった個人は、お孫さんなどに 商品券をお小遣いとして渡すと 子供たちは 喜んで ラーメン屋さんに行くとおもいます。 家族での食事に行くときの足しにもなるとおもいますし、会社も 社員との宴会に使うことも可能だと思えます。 そのことが、飲食店にとっても 今まで使ってもらってなかった お客様との出会いになるとおもいます。

最大の利点は、今回のような感染症による 営業自粛なった時に 飲食店やラーメン屋さんの テークアウトや出前、店での消費に 大きく役立つということです。 お葬式は、感染症が流行しても しなくてもありますので そこで返礼品として渡された商品券が クラウドファンディングの前売券的な意味合いで 利用可能になることです。

地域の商店にとっても、返礼品の地域商品券利用の効果は 莫大なものがあります。 喜多方地方には、昔から 葬式の返礼品に 地域の商店から 敷布や毛布などを購入して使うことによって 地域が活性化したという良き伝統があったんですから 地域の商店も 新しい事業展開もはかれると 思います。

感染症予防のために、喜多方の葬式の特徴であった「とぎの使い」の食事会が できない状態ですが 今後も続くと思われれます。 その時、感染症対策で実施できないお食事代のかわりに 地域活性化の効果のある「地域商品券」を 贈ってもよいと思われれます。 きっと、喜ばれると思われれます。